

教養コース ④ 国際社会学

朝鮮半島の歴史と現在と日本

# 第一回 朝鮮近代史 (1)

明治維新～第2次世界大戦終結  
幕末・征韓論・政変

日 時	2019年7月13日(土) 10:00AM～
場 所	鶴瀬公民館 第三集会室
講 師	南雲 和夫 氏 (中央学院大学、法政大学 講師)
受講者数	46人

世界の動向を的確にとらえ、自己の時代認識を高める学びの場として、今年度の国際社会学が始まった。世界の注視を集める米朝会談、歴史認識に課題を抱える朝鮮半島について、講義は、まず、基礎的要件として「朝鮮近代史」を学ぶ。その第1回は、日本と朝鮮半島のかかわりについて、以下の日朝の歴史解説があり、その後質疑応答が行われた。



南雲 和夫 氏

## 1. 古代～近世の日本と朝鮮半島、そして埼玉県

<要旨：文化や仏教の交流があった一方、また、争いも起きた時代>

- ・高句麗との関係（「高松塚古墳」で高句麗の古墳で発見された壁画の類似品発見）
- ・百濟より仏教伝来（638年） 「倭国」は朝鮮三国（高句麗、百濟、新羅）と交流
- ・「倭国」が百濟を支援、新羅を支援の唐と「白村江の戦い」で完敗（663年）
- ・高句麗（668年滅亡）から武蔵国高麗郡に1799人亡命・移住
- ・新羅、朝鮮半島を統一（684年）
- ・渤海国との交流（7～8世紀）
- ・女真族の九州侵攻（1019年）
- ・モンゴル帝国の襲来 元寇：1274年（文永の役）、1281年（弘安の役）

- ・倭寇（朝鮮国が日本を攻める）盛んとなる（1350年）
- ・秀吉による朝鮮侵略 文禄の役（～1596年）、慶長の役（～1598年）
- ・江戸時代に「朝鮮通信使」（川越市の「唐人揃い」）による交流（1607～1811年）

## 2. 近代以降の日朝関係

<要旨：日本の朝鮮半島進出と植民地化の時代 ⇒日朝・日韓の影が今も尾を引く>

- ・明治維新～いわゆる「征韓論」論争
  - 朝鮮王朝側による「国書」受け取り拒否 ⇒ 「征韓論」論争に
  - 留守政府内部での対立、白紙撤回で西郷隆盛ら下野（明六政変 1873年）
- ・江華島事件（軍事挑発 1875年）、日朝修好条規（＝不平等条約 1896年）
- ・日本、韓国併合（1910年） 注：日清戦争（1894年）、日露戦争（1904年）
- ・朝鮮 3.1 独立運動（1919年）と関東大震災（1923年） 注：ロシア革命（1917）
  - 朝鮮人戦時強制動員⇒徴用工、慰安婦問題
- ・金日成（キムイルソン）の抗日遊撃隊闘争（1932年～）と第二次世界大戦
- ・日本がポツダム宣言を受諾し降伏（1945年）とカイロ宣言
- ・光復節（日本の植民地支配から解放）、朝鮮人民共和国樹立宣言（1945年）
- ・米英ソ首脳会談（1945年12月）、38度線で南北に分離
- ・大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国成立（1948年）
- ・朝鮮人民軍南進を開始し、朝鮮戦争始まる（1950年）
- ・休戦協定（1953年）

